

第158回 新潟市都市計画審議会

議案第7号

新潟都市計画火葬場の決定（案） （新潟市決定）

4号 新潟市巻斎場

都市計画火葬場とは

・根拠法令

【建築基準法 第51条】

都市計画区域内においては、卸売市場、火葬場又はと畜場、汚物処理場、ごみ焼却場その他政令で定める処理施設の用途に供する建築物は、都市計画においてその敷地の位置が決定しているものでなければ、新築し、又は増築してはならない。

(以下、ただし書省略)

新潟市巻斎場の現状

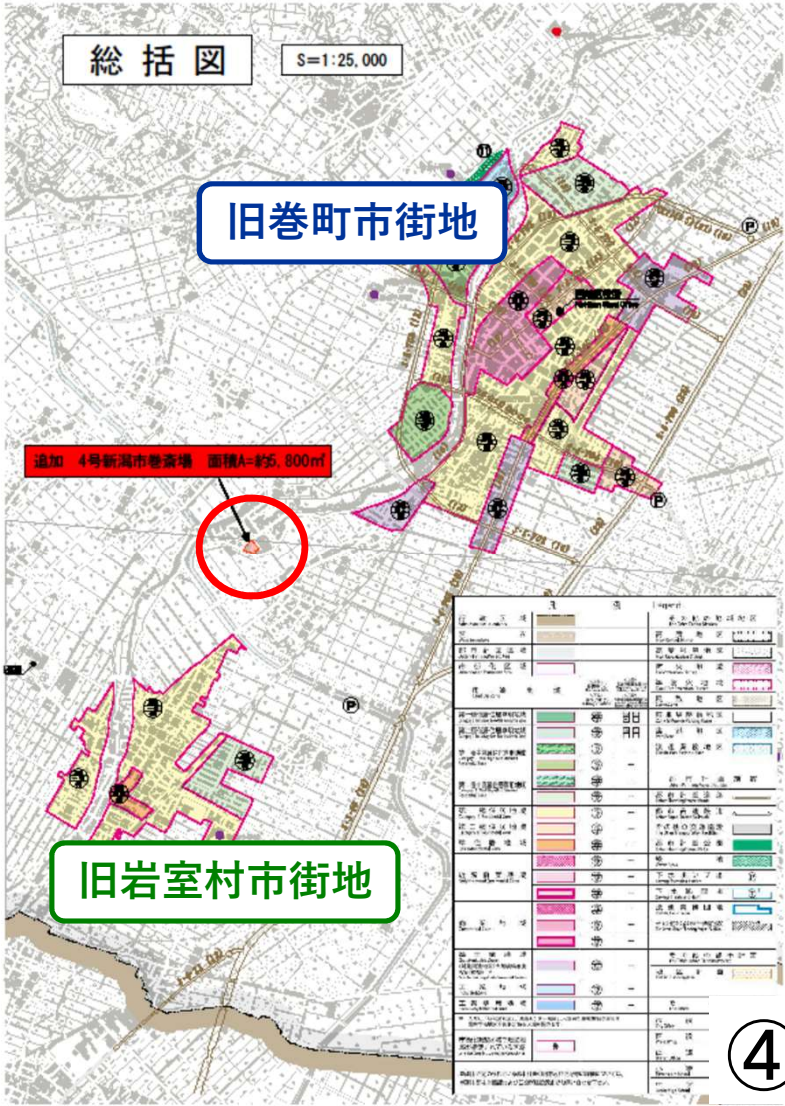
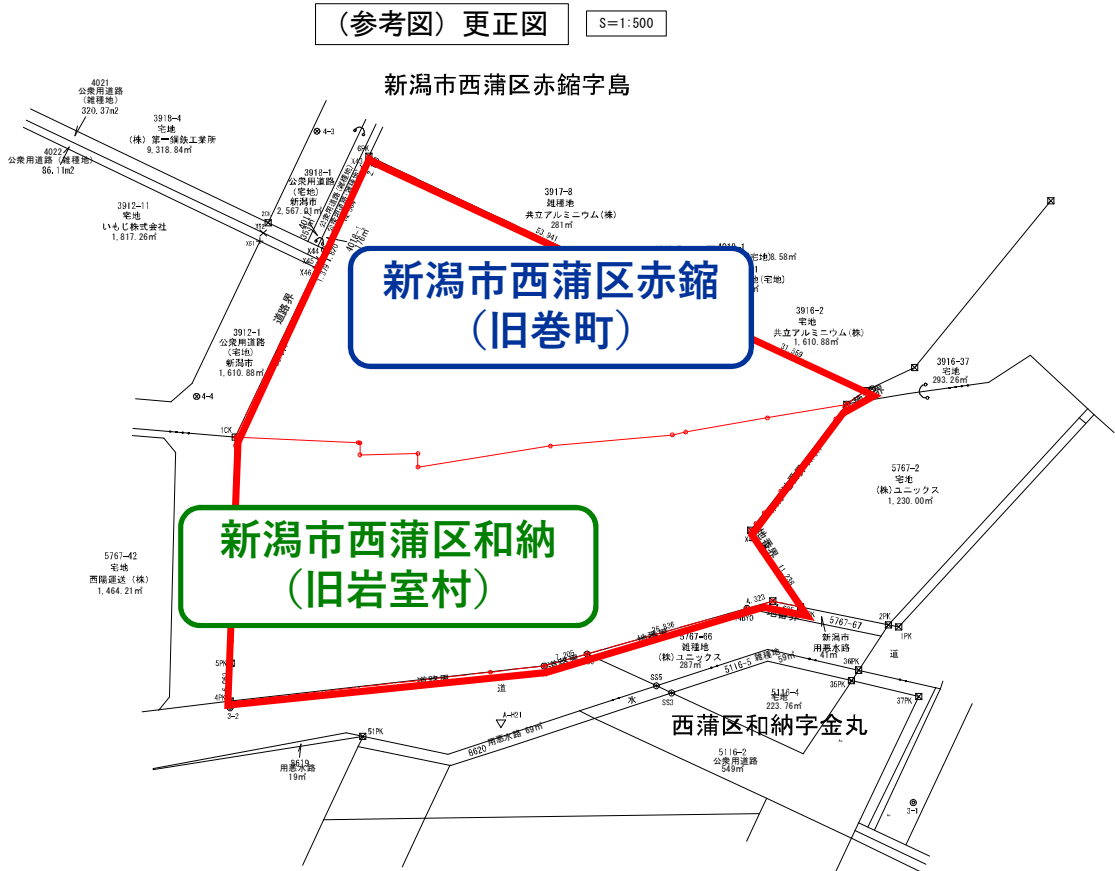
- 巻斎場（昭和43年11月開設）
⇒火葬炉、建物ともに老朽化
- 高齢化により増加する火葬需要
⇒現施設では対応が困難
- 火葬体制確保及び市民サービス維持
⇒現在の敷地内での建替え整備
- 巻斎場と都市計画決定
昭和43年時点では、巻斎場が設置された旧岩室村和納は都市計画区域外
⇒火葬場として都市計画決定されていない



整備を行うために敷地の都市計画決定が必要

本案件の概要

種別	名 称		位 置	面 積	備考
火葬場	番号	火葬場名	新潟市西蒲区和納地内 新潟市西蒲区赤鋤地内	約5,800㎡	火葬炉3基 (最大8体/日)
	4	新潟市巻斎場			



都市の将来像における位置づけ

【新潟市都市計画マスタープラン】

市街地と田園・自然の多様な魅力が
人とつなぐ多核連携都市 新潟

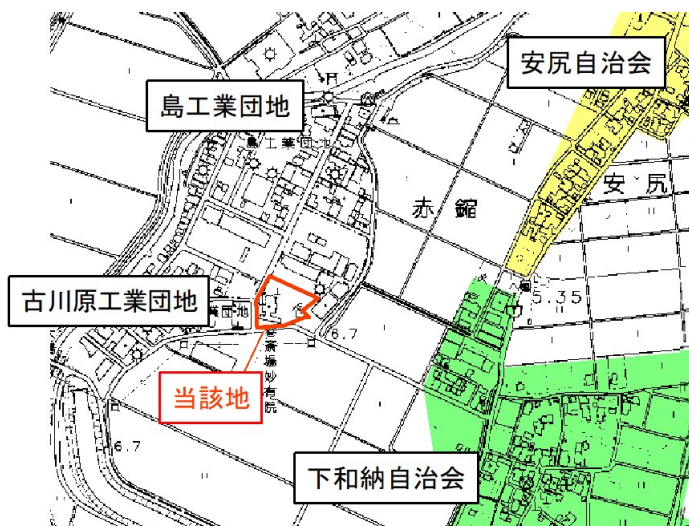
- ・ 地域の市民生活の基盤
⇒ 暮らしに必要なサービス機能の充実
- ・ 公共施設
⇒ 環境に配慮
⇒ バリアフリー化、ユニバーサルデザイン
⇒ 将来にわたって機能と安全性を維持

都市の骨組みを形づくる必要不可欠な公共施設

老朽化のため設備の改善が必要



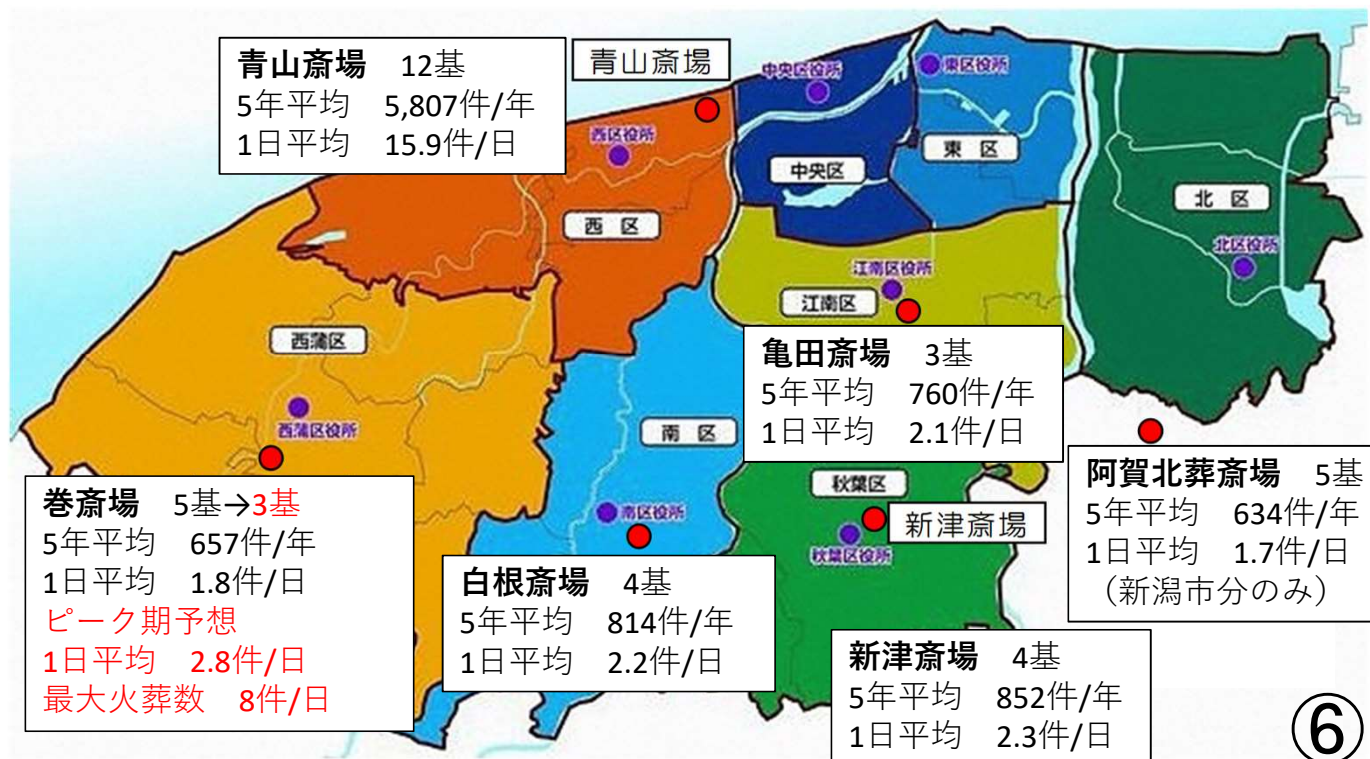
位置、区域、規模の妥当性



- ・市街化調整区域
古川原工業団地内
最も近い住宅地から200メートル
- ・西蒲区内から車で20分程度
- ・旧巻町、旧西川町、旧岩室村、旧潟東村の住民から広く認知

- ・新潟市の火葬 6 か所
青山、新津、白根、亀田、巻、阿賀北（阿賀野市）
- ・ピーク期 最大1日8件に対応
最新式の火葬炉3基を導入予定

位置、区域、規模は妥当



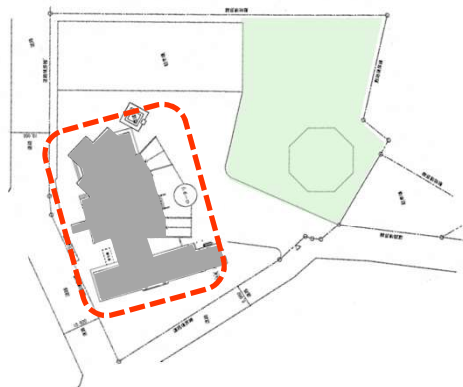
これまでの経緯と今後のスケジュール

年	新潟市	西蒲区（地元への説明）	都市計画関連
令和4年	3月 基本構想策定 7月 公共施設部会で検討開始		
令和5年	1月 公共施設部会で 建替え決定 1月 PPP/PFI検討推進委員会検討 6月 火葬炉プロポーザル業者決定 7月 基本計画策定 7月 敷地測量	3月 西蒲区自治協議会へ説明 5月 近隣自治会長へ説明 近隣自治会へ概要配布 7月 近隣企業へ説明 8月 西蒲区自治協議会へ説明	
令和6年	(1月 能登半島地震発生) 3月 基本設計 (7月 巻斎場整備継続決定)	5月 西蒲区自治協議会意見聴取 (意見なし)	9月 県素案協議 11月 素案縦覧 (意見なし) →公聴会中止 12月 広域調整 (意見なし)
令和7年	3月 実施設計 秋頃～ 建設工事（予定）		1月 県・市関係機関 (意見なし) 案縦覧 (意見なし) 3月 都市計画審議会 4月 県知事協議（予定） 決定告示（予定）

参考：新斎場整備計画について

・敷地配置図

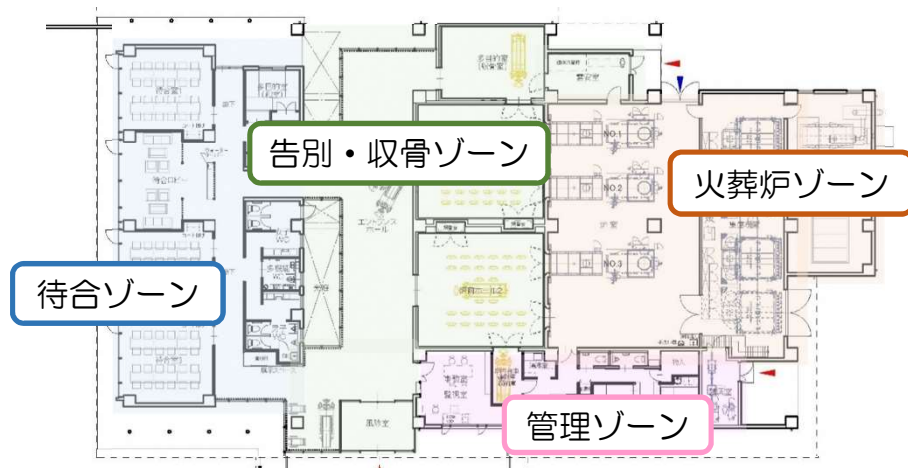
【現状】



【完成後】



・施設平面図（基本設計より）



・完成イメージ

